

(共同リリース)

2018年10月4日
日本航空株式会社
株式会社ispace

ランダー組立をJALECエンジン整備センター(成田)で開始 ～HAKUTO-Rの月へのチャレンジを、JALが技術力でサポート～

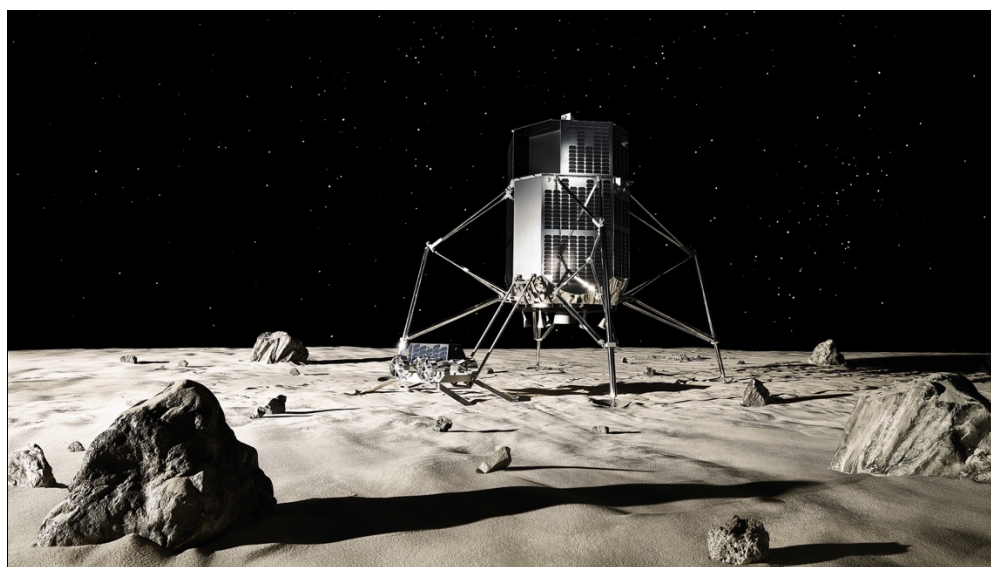
日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂 祐二、以下「JAL」と)と株式会社 ispace(所在地:東京都港区、代表取締役 CEO:袴田 武史 氏、以下「ispace」)は、昨年、資本業務提携を行い(*1)、2018年10月より、JAL は ispace が行う史上初の民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のランダー(月着陸船)組立ての技術支援を開始しました。JAL の100%子会社であり、JAL グループの航空機の整備を担う、株式会社 JAL エンジニアリング(以下 JALEC)のエンジン整備センター(成田)にて HAKUTO-R の2機のランダーを組み立てます。また、JALEC の整備士が、溶接などの組立作業の一部について技術支援を行います。組み立てたランダーは、2020年と2021年に月へ打ち上げられる予定です(*2)。

(*1) 2017年12月13日付プレスリリース 第17114号 <http://press.jal.co.jp/ja/release/201712/004533.html>

(*2) Mission1: 2020年半ばに月周回軌道から月探査、Mission2: 2021年半ばに月に着陸し月面探査ローバーで月面探査

月面の資源開発を足がかりに宇宙での生活圈構築をめざす ispace と、宇宙旅行をはじめとする新事業の創出に取り組む JAL は提携し、宇宙での新たな価値創造にチャレンジしています。JALEC は、航空機整備で培った技術力や品質管理能力が、宇宙機製造に求められる要件を満たすことから、ランダー組立に関わる技術支援を行うこととなりました。JALEC と ispace、両社の技術者たちが互いに力を合わせて、それぞれの分野で培った知識と能力の限りを尽くし、宇宙に向けて着実に前進していきます。

両社は、これからも相互に得意とする分野での提携を拡大し、宇宙という未知なる世界へのチャレンジを継続し、新たな宇宙事業の創出に向けて取り組んでまいります。



史上初の民間月面探査プログラムHAKUTO-Rのランダー



JALEC エンジン整備センター(成田)



(イメージ) JALEC 航空機エンジン溶接作業

参考:会社概要

◆株式会社 JAL エンジニアリング (<http://www.jalec.co.jp/index.html>)

JALグループの航空機の整備を担い、安全運航を支える航空機整備会社。羽田空港、成田空港、伊丹空港を拠点に、JALグループの航空機の発着整備、点検整備、航空機からとり下ろされたエンジン・部品などの整備を行う。また、日本各地の空港において、JALグループの航空機に加えて海外航空会社の航空機の発着整備も行う。

◆株式会社 ispace (<http://ispace-inc.com/jpn>)

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。2018年2月までにシリーズA国内過去最高額となる103.5億円の資金調達を実施。日本初民間開発の月着陸船による「月周回」と「月面着陸」の2つのミッションを行うプログラム「HAKUTO-R」を発表。アメリカSpaceX社のFalcon 9ロケットで2020年と2021年に打ち上げ予定。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動。

◆HAKUTO-R (<http://ispace-inc.com/hakuto-r>)

HAKUTO-Rは、ispaceが2021年までに行う史上初の民間月面探査プログラムです。独自のランダーとローバーを開発して、2020年に月周回と2021年に月面探査の2回のミッションを行います。SpaceXのFalcon 9を使用し、それぞれ2020年半ばに月周回ミッション、そして2021年半ばに月面探査ミッションの打ち上げを行う予定です。

お問い合わせ先

日本航空株式会社

ispace株式会社

広報部

PR担当

03-5460-3105

pr@ispace-inc.com